# 都市再生整備計画　事後評価シート

# 保健医療福祉拠点周辺地区

令和6年3月

愛知県東海市

## 評価結果のまとめ

| 都道府県名 | 愛知県 | 市町村名 | 東海市 | 地区名 | 保健医療福祉拠点周辺地区 | | | 面積 | 71.3ha |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 交付期間 | 平成30年度 ～ 令和5年度 | 事後評価実施時期 | 令和5年度 | 交付対象事業費 | 11,381.3 | 国費率 | 0.498 | | |

### 1）事業の実施状況

| | | 事業名 |
|---|---|---|
| 当初計画に位置づけ、実施した事業 | 基幹事業 | 道路（唐畑7号線始め2路線）、高質空間形成施設（緑化施設等）（歩行者空間整備（駅アクセス歩行者道路等））、中心拠点誘導施設（新病院整備事業） |
| | 提案事業 | — |

| | | 事業名 | 削除/追加の理由 | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 |
|---|---|---|---|---|
| 当初計画から削除した事業 | 基幹事業 | — | — | — |
| | 提案事業 | — | — | — |
| 新たに追加した事業 | 基幹事業 | 道路（唐畑7号線始め3路線）<br>道路（限度額立体）（養父森岡線）<br>地域生活基盤施設（人工地盤等）（自由通路等整備）<br>地域生活基盤施設（地域防災施設）（調整池整備）<br>地域生活基盤施設（自転車駐車場）（駅北口）<br>地域生活基盤施設（情報板）（駅北口）<br>高質空間形成施設（舗装）（駅北口）<br>高質空間形成施設（シェルター）（駅北口）<br>土地区画整理事業（東海加木屋中部土地区画整理事業） | 【道路（唐畑7号線始め3路線）】市道認定を行い、新たに交付対象事業に見込まれるため追加<br>【道路（限度額立体）】計画区域の変更に伴い、事業の位置づけを変更<br>【地域生活基盤施設（人工地盤等）】公立西知多総合病院から新駅までを整備する区間の一部であるため追加<br>【地域生活基盤施設（地域防災施設）】計画区域の変更に伴い、社会資本総合整備計画の効果促進事業を、都市再生整備計画の事業に変更<br>【地域生活基盤施設（自転車駐車場）】駅前広場の計画が確定したため追加<br>【地域生活基盤施設（情報板）（舗装）（シェルター）】駅前広場の計画が確定したため追加<br>【土地区画整理事業（東海加木屋中部土地区画整理事業）】都市計画マスタープランに位置付けられた「医職住」が整った市街地の形成及び立地適正化計画に位置付けられた保健医療福祉拠点都市機能誘導区域の誘導施設である商業施設の誘導を土地区画整理事業により実現を図るため追加 | 特になし |
| | 提案事業 | 事業活用調査（まちづくり評価分析事業） | 従前よりまちづくりの評価を適切に実施していくため。 | 特になし |

| 交付期間の変更 | | | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 | |
|---|---|---|---|---|
| | 当 初 | 平成30年度 ～ 平成34年度 | | 事業期間変更のため、指標への影響はない。 |
| | 変 更 | 平成30年度 ～ 令和5年度 | | |

### 2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

| | 指 標 | | 単位 | 従前値 | 基準年度 | 目標値 | 目標年度 | 数 値 モニタリング | 数 値 評価値 | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | | 効果発現要因（総合所見） | フォローアップ予定時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 健康寿命 | | 歳 | 男性：79.45<br>女性：82.69 | H27 | 男性：79.93<br>女性：83.84 | R5 | － | 男性：80.41<br>女性：84.62 | ○ | あり<br>なし | | 新病院整備事業により、市民が身近に高度な医療を受けられる環境や定期的な通院環境が整い市民生活の安心感が広がり、健康寿命の延伸に寄与したと考えられる。 | 令和7年4月頃 |
| 指標2 | アダプトプログラム登録数 | | 団体 | 25 | H29 | 35 | R5 | － | 35 | ○ | あり<br>なし | | 道路や新駅周辺などの市民にとって身近な公共空間の整備が進捗したことで、市民によるまちの愛着が深まるとともに美化活動への参加意欲が向上したと予測され、アダプトプログラムの登録数の増加に寄与したと考えられる。 | 令和7年4月頃 |
| 指標3 | 地区内人口 | | 人 | 3,035 | H28 | 3,100 | R5 | － | 2,907 | × | あり<br>なし | ● | 事業は進捗したものの、新駅の加木屋中ノ池駅の令和6年3月の供用開始が一部であることや、区画整理の使用収益が開始していないことから、地区内人口の増加に至らなかった。また、従前値を下回った要因として、世帯人員の減少や駅周辺の整備による移転などが考えられる。今後、まちの基盤整備により住環境の快適性が向上し、住宅需要の高まりが予想されることから地区内人口の増加が期待できる。 | 令和7年4月頃 |

### 3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

| | 指 標 | | 単位 | 従前値 | 基準年度 | 目標値 | 目標年度 | 数 値 モニタリング | 数 値 評価値 | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | | 効果発現要因（総合所見） | フォローアップ予定時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| その他の数値指標1 | 住環境が整備され快適な生活が確保されていると思う人の割合 | | % | 59.0 | H28 | | | | 69.1 | | | | 新駅の加木屋中ノ池駅及び周辺の整備が進む中で、新病院整備事業及び調整池整備事業により良好な住環境の向上が図られており、快適な住環境が確保されていると思う人の割合の増加に寄与したと考えられる。 | 令和7年4月頃 |

### 4）定性的な効果発現状況

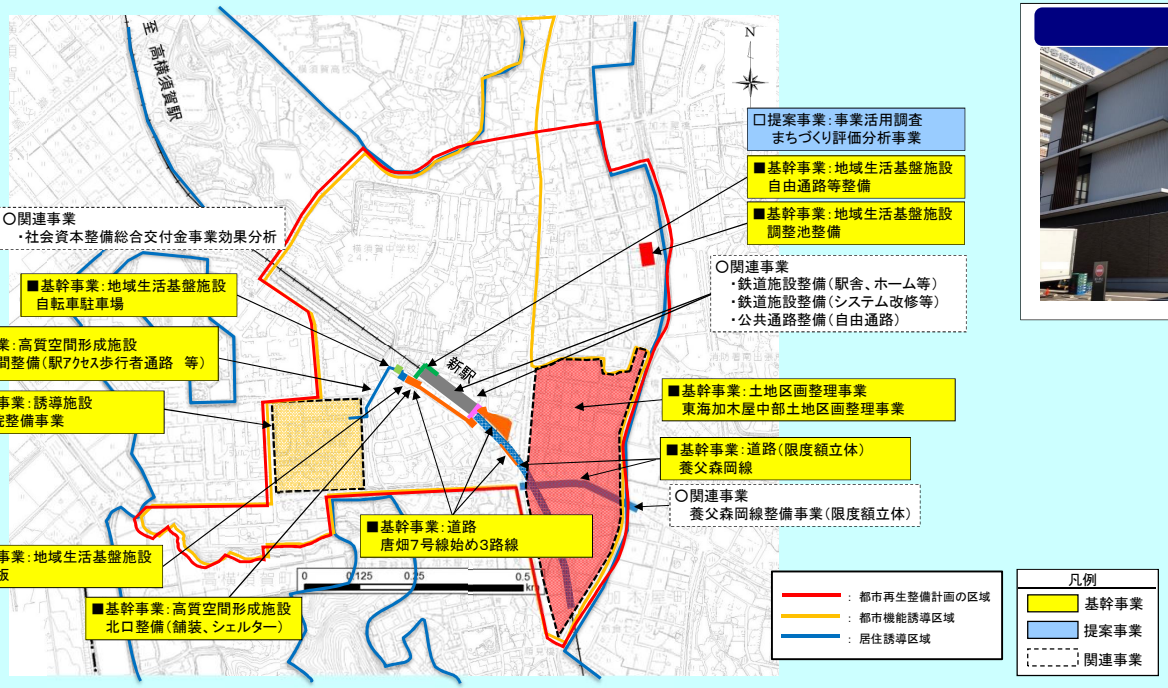
### 5）実施過程の評価

| | 実施内容 | 実施状況 | | |
|---|---|---|---|---|
| モニタリング | 令和3年度にモニタリングを実施し、モニタリングシートを作成した。 | 都市再生整備計画に記載し、実施できた<br>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した<br>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | <br>●<br> | — |
| 官民連携による取組 | — | 都市再生整備計画に記載し、実施できた<br>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した<br>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | <br><br> | — |
| 持続的なまちづくり体制の構築 | アダプトプログラム登録団体と連携し、本計画区域内での公共施設の清掃活動等、まちの維持管理活動への住民参加の促進を図った。 | 都市再生整備計画に記載し、実施できた<br>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した<br>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | <br>●<br> | 今後も引き続き、アダプトプログラムの登録を促進を図りつつ、登録団体等と連携してまちの維持管理への住民参加を促進する。 |

## 地区の概要

保健医療福祉拠点周辺地区（愛知県東海市） 都市再生整備計画事業の成果概要

| まちづくりの目標 | 目標を定量化する指標 | | 従前値 | | 目標値 | | 評価値 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 目標　全ての世代が安心安全で快適に暮らせるまちの実現<br>・身近に高度な医療が受けられ通勤に便利な「医職住」が整った市街地の形成<br>・誰もが住みやすい生活サービス施設の充実<br>・市街地における公共交通の機能強化 | 健康寿命 | 歳 | 男性：79.45<br>女性：82.69 | H27 | 男性：79.93<br>女性：83.84 | R5 | 男性：80.41<br>女性：84.62 | R5 |
| | アダプトプログラム登録数 | 団体 | 25 | H29 | 35 | R5 | 35 | R5 |
| | 地区内人口 | 人 | 3,035 | H28 | 3,100 | R5 | 2,907 | R5 |




新病院整備事業

調整池整備

| | |
|---|---|
| まちの課題の変化 | 【達成されたこと】<br>「新病院整備事業により身近に医療サービスが整った市街地形成が図られている。」<br>「新病院整備事業により、生活サービス施設が充実し、誰もが住みやすい環境が形成されている。」<br>「新駅の加木屋中ノ池駅や駅周辺整備の進捗が図られている。」<br><br>【残された未解決の課題】<br>「新病院整備事業により医療制度の整った市街地の形成が図られたものの、職と住の整った市街地の形成が進んでいないため、駅及び周辺の未整備箇所の整備を進め、駅の拠点性を高めることが必要である。」<br>「新駅の加木屋中ノ池駅の整備が実施されているものの、周辺市街地の整備が十分に進んでいないため、都市基盤等の整備により、生活サービス施設の立地を促進し、誰もが住みやすい市街地の形成が必要である。」<br>「新駅の加木屋中ノ池駅や駅前広場などの整備を進めることで、公共交通の機能強化を図る必要がある。」 |
| 今後のまちづくりの方策<br>（改善策を含む） | 【効果を持続させるために行う方策】<br>「新駅の加木屋中ノ池駅や病院周辺の都市基盤整備を進めることで、病院へのアクセス性を高め、身近に医療サービスを受けられる環境を向上させる。」<br>「生活サービス施設の立地を促すなどにより、維持・充実を図ることで住みやすい市街地の創出を図る。」<br>「新駅の加木屋中ノ池駅の利便性向上及び駅周辺の機能向上を図ることで公共交通の機能強化を図る。」<br><br>【改善策】<br>「駅周辺の都市基盤施設等を整備することにより、身近に便利な医療サービスが受けられる「医職住」が整った市街地の形成を図る。」<br>「様々な世代の住民が利用可能な生活サービス施設の維持・充実を図る。」<br>「駅前広場や駅へのアクセス道路等を整備することにより、駅へのアクセス性や利便性を高める交通結節点としての機能強化など、既存市街地の公共交通機能の強化を図る。」 |